

えんだより 11 月号(2026)



大きな行事の運動会や社会科見学、ハロウィンパーティーなど楽しんで終わった 10 月でした。

ハロウィンパーティーでは、魔女の家ができていて『トリック　オア　トリート！』と呪文を唱えると魔女からお菓子を頂けたり、全員でダンスをしたり、ヨーロッパでは作物の収穫祭であることや死の世界から亡くなった人々が、この世に帰ってくること、魔女たちに連れていかれないように変装をして過ごすことなどを、先生方は丁寧に子供たちに教えていました。毎日の生活や、カリキュラムをこなす時にも、道徳感や良いこと、してはいけないことなどをその年齢に合わせて子ども達に伝えています。子ども達はとても真剣に話を聞いています。特に年長さんは小学校にむけて、少なくとも 30 分間の集中力を持って授業に望まなくてはなりません。その 30 分の集中力を養うために様々な工夫をしています。このように人の話を聞くことができ、またその話の内容を理解し考える力が育っています。また園での体験や絵本が、子ども達が大きくなっていく上で大きな原動力となっています。今世界中はネットや数多くの映像が彼らの周りにありますが、こんな時代だからこそ、もう一度活字に親しむ環境を大切にしたいものですね。

毎晩寝る前に子ども達は『ね～！絵本読んで･･･』とせがんでいることでしょう。この一冊の絵本がきっと子ども達に知識と考える力と想像力を創ってくれることでしょう。

子ども達の限りない可能性を育てるために、一冊の絵本の力を借りてみましょう。

この一冊が彼らの人生を決めることになるかも･･･････





鍛錬えんそく

待ちに待っていた遠足！朝から無情の雨が降っていました。せっかく作ってもらったお弁当も泣いています。

しかしお天気には勝てません。全員で『ダンシング玉入れ･ゲーム』などして、遠足の代わりに過ごしました。さ～お弁当の時間です。思い思いにそして嬉しそうにそして、大切そうに開いて『いただきま～す！』こうして双葉の遠足は終わりました。『また、お天気になったらお散歩しようね！』との約束になんとか、気持ちを持ちこたえていた子ども達でした。どの子たちのお弁当もとても美味しそうでした。お忙しい中のお弁当作り、お疲れさまでした。